



教科名： ボデー電装Ⅱ

2025年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 1年 後期

科 目： 自動車整備作業

時限数 ： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY19			
FY20			
FY21			
FY22			
FY23	シラバスメンテナンス	6/1	合田
FY24			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2025年度		授業計画	
時 期	1年後期	単 元	実 習	教科名	ボデー電装Ⅱ
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産4級 電装	発行日	2018/1/24新規
			3級シヤン		
※ 注1	総時限 32時限		実習ノート(初回授業時配布)	教科担	見谷 哲
※ 注1	授業時間 51.2時間			当	※ 注2 ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1944時間(50分ベース)を確保(法定合計時間1800時間(50分ベース))					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士としてボデー電装作業の実務経験がある教員により配線図集の使用方法、照明装置、信号装置の点検ができるように指導する。また車両を用いて簡単な故障診断ができるように指導する。					
2. 教科の目的(この学科の狙い、目的を明確に記入)					
①配線図集の使い方の修得する。 ②ぎ装図を見て実車で理解し習得する。 ③車両を用いてPWの点検が出来るよう理解し習得する。 ④車両を用いて簡単な故障診断が出来るよう理解し習得する。 ⑤計器装置の構造、作動を理解する。					
3. 授業の到達目標(何を理解し何が出来るようになるのか)					
①配線図画読めるよう習熟する。 ②配線図を見て実車で測定できるように習熟する。 ③PW装置の構造と作動を説明できる。 ④実車で簡単な回路の故障診断が出来るよう習熟する。 ⑤各計器の構造と作動を理解し説明できる。					
4. 学習評価(期末試験での主な試験項目)					
実習評価点は、技術評価点(70点)+レポート評価点(15点)+取組評価点(15点)とし、 60点以上(工学科は70点以上)を合格とする 技術評価点 実技試験 70% ①車両を使用しての故障探究 筆記試験 30% ①灯火、信号装置の理解 ②回路図の配線色についての理解					
5. 準備学習					
①日産4級電装テキストの配線図集の使用方法、照明装置、信号装置の点検また、 車両を用いて簡単な故障診断ができるようあらかじめ読んでおく。 ②授業終了後、教員から指示された教科書、実習ノートの項目について復習を行うこと。					
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者					
6. 指導目標					
①回路図を使い、実車で測定及び故障診断が出来るよう理解させる。 ②ぎ装図を使用し車両ハーネスの取り回しや、コネクタの位置が理解させる。 ③灯火装置、信号装置の構造と作動を理解させる。 ④故障現象から原因の絞り込みをすることの大切さを意識させ、理解させる。					

2025年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科			2025年度		授業計画	
時 期	後期	単元	実習	教科名	ボデー電装Ⅱ	
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）						
番号	作業名		遵守事項		災害事例	チェック
1	フエンダーカバー、4点セットの取り付け、取り外しの厳守		お客様の車に傷をつけないこと。		指をベルトに巻き込んだりしないように全員で気をつける。	
2	エンジン始動時の声かけ		班員の返事がないときは始動しない。			
3	車両実習はペアで必ず行動すること。		安全のため、一人で行動しないこと。			
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）						
実習場			座学教室			
①ZE1リーフ5台使用 ②実習車両1台あたり4～5名（5グループ）で実習を行う。						